

平成21年度

事業報告書

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

＜平成21度事業報告＞ 要旨

調布市武者小路実篤記念館は昭和60年10月に開館してから24年目となり、この間、平成4年1月に当事業団が設立されてからは、調布市武者小路実篤記念館の事業活動全般を担い、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し広く普及する事業を展開し、各方面から高い評価をいただいております。

平成21年度は、引き続き調布市教育委員会からの受託事業を中心として、開館から今日まで蓄積してきた展示・普及、収集・保存、調査・研究活動をととして得られた成果と信頼をもとに事業を進めました。そして、作品・資料や情報の適切な管理と有効な活用をはかるとともに、記念館の機能を十分活用し、来館者の要望を取り入れながら、特色ある教育施設や地域の芸術・文化の拠点としての役割を担うべく多彩な事業を展開しました。

当事業団の運営にあたっては、事務事業の強化を計り、設置理念、事業内容の充実を達成するために、規定等の整備を行うとともに、必要な組織、効率的かつ円滑な運営面のあり方を、各方面の協力を得ながら、引き続き検討を進めてまいりました。

新たに、友の会よりミュージアムグッズの物品販事業を移し、自主財源を増やすとともに、特別会計をつくり会計の透明化を図りました。

また、公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や効率性をわかりやすく公表するように引き続き努め、運営状況をホームページ上で公開いたしました。

＜展示事業＞ 「展示事業」は事業の中心であり、春の特別展「連作“馬鹿一もの”の世界」を、秋の特別展「生きること～高田博厚と実篤～」を開催し、各方面より好評をいただきました。また、6回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展覧会を開催しました。

さらに、調布市文化会館たづくりにおいて、移動展 「武者小路実篤記念館 収蔵品より＜人と筆跡＞」展を開催し、より多くの人に武者小路実篤や実篤記念館の収蔵品を知っていただく機会といたしました。

展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れ、満足度の高い事業を提供するべく努めました。

＜普及事業＞ 「普及事業」では、恒例となった「実篤に挑戦」（絵画制作会）をはじめ、多くの応募が寄せられた製本講座、読書会、美術講座、自然観察会、朗読会を開催し、内容の充実に努めました。幅広い世代に対し良質な事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場、市民の誇りとなるような事業展開を心がけました。また、朗読会を独自事業として開催し、事業の充実が望まれる講座については、参加者に応分の負担をしていただく運営方法で取り組みました。

さらに、地域連携事業では、桐朋学園大学音楽部などの協力を得て、コンサートを開催し、好評なものとなりました。

学校教育との連携事業では、市内在住、在学の小・中学生を対象とした詩・作文募集を実施し、「ともだち」第三集を発刊したのをはじめ、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れなどを引き続き進めました。また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子供たちが多様な体験を通して感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育む事業を進めました。

協力ボランティア活動は、普及事業への協力や広報資料の送付、他館より送付された図録資料の整理、実篤公園の草花調査、草木の育成・手入れ作業と活動の幅が広がり、記念館の事業展開に大きな役割を果たすまでとなり、市民、地域との連携を担う事業となりました。協力ボランティアによるガイドツアーを定期的に実施し、また、活動を充実させるために、関連美術館の見学、来館者対応について学ぶ研修を実施しました。

記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくために、ホームページを活用し、広報や事業記録としての役割を担う「館報」の内容をより充実させるとともに、各方面への積極的な広報活動を行い、各種取材への対応をしました。

21年度より都内の美術館・博物館等入場券&割引券「ぐるっとパス2009」事業を市より受託し、この事業を通して実篤記念館事業を周知し、広報の充実に取り組みました。

＜資料の収集・保存事業＞ 「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実に図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集しており、事業団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしました。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めました。さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、保存・記録作業のほか、作品修復、資料の複製制作を計画的に実施しました。

収蔵庫燻蒸に際しては、資料・作品に係わる作業への協力を行いました。

＜閲覧・情報公開事業＞ 「閲覧」業務では、開架図書を中心とする閲覧業務、レファレンス業務のほか、展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の活用促進を計り、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

「情報公開」事業では、コンテンツや情報の充実に努め、収蔵品情報やより多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、収蔵品データベース、情報提供システムの運用を引き続き進めました。

21年度は、システム機器の入替とそれに伴うシステム改修、データの充実のための作業を実施しました。

＜調査・研究事業＞ 「調査・研究」活動では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

＜物品販売事業＞ 21年度よりこれまで友の会が担ってきたミュージアムグッズの物品販売事業を事業団へ移し、自主財源を増やすとともに、特別会計をつくり、会計の透明化を図りました。

その収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業の更なる充実をサポートしました。

＜その他事業＞ 友の会は、記念館と来館者を結ぶ組織であり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発

行するほか、友の会主催事業を実施し、記念館事業を側面から支援しました。
当事業団は、友の会の事務局を担当しました。

また、自主財源を確保するために、記念館隣接道路に設置された案内掲示板の広告料収入を得たほか、写真貸出、博物館実習の受入など実施いたしました。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団
【平成21年度 事業報告】

1. 入館状況 詳細、別紙1 「使用状況」のとおり
2. 展示事業 詳細、別紙2-2「展示事業」のとおり ※
3. 普及事業 ※
- (1) 講座・講演会等 詳細、別紙2-3(1)(2)のとおり
年間27件40回開催
- ・年代を問わず、様々な角度から武者小路実篤、実篤記念館や公園を知るきっかけづくりを中心とした講座、講演会等を開催。
 - ・地域連携事業
地域連携事業として桐朋大学音楽学部等の協力によるコンサートを開催すると共に、仙川商店街イベントに参加。
- (2) 学校教育との連携事業 詳細、別紙2-3(3)のとおり
- ・市内小・中学生を対象とした詩・作文募集(第3回)を実施し、作品集「ともだち(第3集)」を編集、刊行した。
 - ・夏休み講座、自由研究サポートの充実、親子参加事業の開催。
 - ・芸術鑑賞授業、校外学習等への対応、解説シートの作成と配布。
 - ・職場体験、職場訪問への協力。
 - ・学校図書館へ関連図書、資料の配付及び情報提供を行い、利用普及に努めた。
- (3) 生涯学習活動への対応
- ・展示解説(事業団主催) 8回
 - ・団体見学者に対しての展示解説 20回
 - ・視察 2件
 - ・外部事業への講師 1件
- (4) 協力ボランティア事業 詳細、別紙2-3(4)のとおり
- ・普及事業への協力、広報資料の発送作業、他館より送付の図録、年報などの資料整、実篤公園の草花の育成などの活動を実施。(登録者31名)

- ・協力ボランティアによるガイドツアー、歴史散歩を開催。
- ・ボランティア活動を充実させるための、研修講座や会議を開催。
- ・事業団は活動の日程等の調整を中心に対応。

(5) 印刷物の編集 詳細、別紙2-3(5)のとおり

- ・特別展や武者小路実篤への理解を深めるために解説資料と、記念館事業の周知をするための広報資料を企画、編集。

(6) 広報活動

展示、普及事業の周知及び取材に対応

- ・特別展等ポスター、チラシの作成、配付 2回
- ・テーマ展、普及事業のミニポスター、チラシの作成、配付 43回
- ・ホームページの更新(年12回) 年間アクセス総数 1,636,685件
- ・調布市報 月2回
- ・ちょうふの教育 年2回
- ・報道機関等への情報提供 43件
- ・取材対応(新聞・雑誌・TVなど) 140件

(7) ぐるっとパス事業

- ・東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会「ぐるっとパス 2009」に参加し、展覧会や事業の広報、普及に努めた。

利用者 749 人、パス販売数 19 冊

(8) 他機関への事業協力

- ・他機関の展覧会開催で情報提供、作品資料の貸出(返却)作業を実施(2件)
 - * 笠間日動美術館「画家 岸田劉生の軌跡展(後期)」(2月28日～4月19日)
 - * 京都府文化博物館、宇都宮美術館、ひろしま美術館、神奈川県立近代美術館「『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術」(巡回/6月6日～12月20日)

4. 資料収集・保存事業 詳細、別紙2-4のとおり

(1) 資料収集 計353点(寄贈191点/購入162点)

所蔵品合計 48,192点(平成22年3月31日現在)

(2) 資料整理・保存(収集整理以外)

- ・資料画像のデジタル化 300点
- ・写真フィルムの整理 515点
- ・他館発行の図録、年報整理 212点

・資料状態の把握、保存作業

収蔵庫内の収蔵品の状態を把握するために、定期的に点検を行い、
状態が良くないもの、予防が必要な作品・資料の保存作業に取り組んだ。

(3) 映像 1件 ※

(4) 修復 3点

(5) 複製 2件 58点

(6) 貸出 14件 ※

(内訳) 作品・資料：2件 56点 / 写真：12件 84点

(7) 写真 撮影 2件/ 写真パネル作成24点 ※

(内訳) 特別展関連資料撮影及び所蔵資料ほか：2件 158点

(8) 収蔵品データベースの充実

21年度は、システム機器の入替とデータベースの検索機能を高め、利便性を向上するために、システムの改修とデータの追加作業を実施した。

実篤記念館が所蔵する美術作品・文字資料・映像資料及び実篤関連資料等の基礎データ整理、一般公開する収蔵品データベースの整備を継続した。

・収蔵品データベース登録数 (21年度末現在) 32,176件

・図書データの追加、更新作業 27,299件

・文字データと画像データのリンク作業 300件

・美術品、原稿、書簡、写真資料データ作成・整備作業 4,067件

・画像データ整備作業 1,414件

・収蔵品データベース 総リクエスト数 1,370,402件

(9) 燻蒸 (燻蒸期間：7/5～7/15)

・収蔵庫の燻蒸に際し、作品・資料に関する作業を実施

5. 閲覧・情報公開事業

(1) 閲覧 詳細、別紙1-3のとおり ※

閲覧室の開架図書を中心とする閲覧及びレファレンス、資料照会

一般閲覧 開室日数：242日 / 利用者数：5,311名

特別閲覧 2件

資料照会 (レファレンス) 2,215件

(カウンター、電話、メールを含む)

(2) 情報提供システムの運用

情報提供システム（収蔵品データベース、来館者利用情報提供システム、映像視聴システム、ホームページ）は、21年度には機器の一部入替とシステムの改修、各種情報及びコンテンツの充実と利用促進を計った。

＜主な作業＞

- * 収蔵品データベースの機器入替とシステムの改修、データの追加
- * 映像視聴システムの機器入替と映像作品の追加
- * 情報提供システムの新規データの追加
- * ホームページのコンテンツのリニューアル

6. 調査・研究事業

※

(1) 特別展関係

開催にともない、資料所蔵先や関係者へ、資料及び聞き取り調査を実施した。また、その成果は、展覧会及びパンフレットへの発表をはじめ、情報の記録作業を行った。

「連作“馬鹿一もの”の世界」展では、執筆原稿をはじめ、関連資料の所在確認、調査を実施した。

「生きること～高田博厚と実篤」展では、高田博厚遺族への資料調査及び鎌倉市所蔵作品の現状調査を実施した。

(2) 資料調査

実篤及び白樺同人関係資料の調査として個人所蔵の志賀直哉宛て書簡及び河野家所蔵の作品、資料の整理及び調査を引き続き実施。

『白樺』創刊100年にともなう、関連資料の所在調査、及び関連資料の調査を行った。

(3) 武者小路実篤研究

武者小路実篤の著作データ及び主宰雑誌の目次データの整備を進めた。

7. 物品販売事業

21年度は、これまで友の会が担ってきたミュージアムグッズの物品販売事業を事業団へ移し、自主財源を増やすとともに、特別会計をつくり会計の透明化を図った。

これらの収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業をサポートした。

新商品として、2010年度版限定チョコレート、落雁、シールを作成した。

8. その他事業

(1) 友の会活動

※

・友の会ニュースの発行 年6回

・観梅会の開催 平成22年2月21日（日） 13:00～16:00

実篤記念館・仙川ハーモニープラザ

中庭にある新しき村より贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後、講座と会員の交流会を開催。

演奏：桐朋学園大学音楽部、邦楽アンサンブル花筏

講座：

映像「実篤の文学作品に親しむ「愛と死」」鑑賞

「愛と死」原稿の逸話 解説：伊藤陽子（事業団学芸員）

「ぼくもきみもかぼちゃも大切、みんな美しい

～小学校図書の時間に実篤を紹介～」

レポート：横山寿美代氏（友の会幹事）

参加者：コンサート参加者101名/交流会 25名

・当年度会員数 計93人（一般：83人 賛助：10人）

・事業団は事務局を担当

(2) 学芸員実習ほか

実習 : 7月31日～7日（7日間） 2名

インターンシップ：8月12日～23日（10日間） 1名

計3名

(3) 写真貸出・特別撮影

・出版、展覧会等への写真貸出、資料撮影への対応を行う。

(内訳) 写真貸出：12件28点 (含有料) /特別撮影：3件6点 (含有料)

(4) その他

- ・案内掲示板の広告収入を得て、自主財源を確保した。

9. 事務事業 (事務局)

(1) 規約、規程等の制定及び改正

- ・給与規程の一部改正 (平成21年12月24日、22年1月1日適用)

(2) 会計事務

- ・公益法人会計に準拠した会計システムを実施。
- ・消費税の税務申告作業を実施。
- ・会計処理 912件 (うち一般会計：592件、特別会計：320件)

(3) 理事会、監事会

- ・理事、監事 「役員名簿」 (別紙3) のとおり
- ・理事会 第1回理事会 平成21年5月19日 開催
第2回理事会 平成22年3月30日 開催
- ・監事会 第1回監事会 平成21年5月14日 開催

(4) 運営状況の情報公開

- ・運営状況をホームページ上で、事業計画・予算、事業報告・決算の情報を公開。

(5) 職員研修

- ・汐留ミュージアム 学芸員照明研究会第9回 (読みたくなるパネルと照明)
平成21年12月16日 2名
- ・来館者対応研修 (ボランティア研修と共同開催)
平成22年1月28日 9名
- ・全国美術館会議 第25回学芸員研修会 (美術館の情報発信ー参加する、
つながる、共有する、ウェブの新時代ー) 平成22年3月12日 1名

(6) 施設

1. 実篤記念館

- * 受付、窓口業務
- * 休憩施設の運営 ビデオ、休憩コーナー (給茶設備) の管理運営
- * 実篤記念館日常管理への協力

2. 実篤公園施設の活用

* 実篤公園の日常管理への協力

3. 旧実篤邸の保存と活用

* 旧実篤邸保存 邸内の作品・資料の適切な保存を図った。

* 旧実篤邸公開への協力

詳細、別紙1-2のとおり

<凡例> 事業項目にある「※」印は、普及促進事業。

平成21年度 調布市武者小路実篤記念館使用状況

平成22年3月31日 現在

1 実篤記念館(実篤公園利用者を含む)

下段の()内の数字は前年度

月	大人(人)	内 入館	子供(人)	内 入館	計 (人)	内 入館	累計(人)	内 入館	開館 (日)	備 考
4 月	3,129 (2,435)	1,023 (980)	938 (826)	250 (172)	4,067 (3,261)	1,273 (1,152)	4,067 (3,261)	1,273 (1,152)	26 (26)	春季展「風景画展」 3月7日～4月12日
5 月	2,856 (2,921)	1,163 (1,449)	502 (601)	50 (146)	3,358 (3,522)	1,213 (1,595)	7,425 (6,783)	2,486 (2,747)	27 (27)	春の特別展
6 月	1,947 (2,069)	709 (824)	529 (481)	27 (39)	2,476 (2,550)	736 (863)	9,901 (9,333)	3,222 (3,610)	25 (25)	「連作“馬鹿一もの”の世界」 4月25日～5月31日
小 計	7,932 (7,425)	2,895 (3,253)	1,969 (1,908)	327 (357)	9,901 (9,333)	3,222 (3,610)	— —	— —	78 (78)	実篤コレクションに見る「祈りの造形」 6月9日～7月5日
7 月	1,361 (1264)	403 (611)	343 (269)	91 (52)	1,704 (1,533)	494 (663)	11,605 (10,866)	3,716 (4,273)	17 (27)	夏休み企画
8 月	1,525 (1,257)	698 (579)	567 (529)	310 (262)	2,092 (1,786)	1,008 (841)	13,697 (12,652)	4,724 (5,114)	26 (27)	「もつとしたい武者小路実篤」 7月19日～8月30日
9 月	2,177 (1,720)	853 (799)	294 (324)	44 (30)	2,471 (2,044)	897 (829)	16,168 (14,696)	5,621 (5,943)	26 (26)	秋季展 「画を見る喜び かく喜び」
小 計	5,063 (4,241)	1,954 (1,989)	1,204 (1,122)	445 (344)	6,267 (5,363)	2,399 (2,333)	— —	— —	69 (80)	9月5日～10月12日 移動展(たづくりギャラリー)
10月	2,126 (2,488)	717 (1,097)	474 (382)	49 (30)	2,600 (2,870)	766 (1,127)	18,768 (17,566)	6,387 (7,070)	27 (27)	収蔵品から「人と筆跡」 9月19日～10月25日
11月	2,774 (2,777)	1,035 (1,407)	469 (419)	26 (36)	3,243 (3,196)	1,061 (1,443)	22,011 (20,762)	7,448 (8,513)	25 (26)	秋の特別展「生きること ～高田博厚と実篤～」
12月	1,414 (1,558)	344 (425)	319 (325)	14 (15)	1,733 (1,883)	358 (440)	23,744 (22,645)	7,806 (8,853)	24 (24)	10月24日～11月29日
小 計	6,314 (6,823)	2,096 (2,929)	1,262 (1,126)	89 (81)	7,576 (7,949)	2,185 (3,010)	— —	— —	76 (77)	新収蔵品展 12月12日～1月17日
1月	1,557 (1,329)	504 (437)	361 (275)	23 (16)	1,918 (1,604)	527 (453)	25,662 (24,249)	8,333 (9,406)	24 (24)	仙川の暮らし 展
2月	1,828 (2,071)	735 (1,031)	351 (385)	47 (49)	2,179 (2,456)	782 (1,080)	27,841 (26,705)	9,115 (10,486)	24 (24)	1月23日～2月28日
3月	1,798 (1,609)	640 (709)	507 (407)	45 (33)	2,305 (2,016)	685 (742)	30,146 (28,721)	9,800 (11,228)	24 (26)	春季展
小 計	5,183 (5,009)	1,879 (2,177)	1,219 (1,067)	115 (98)	6,402 (6,076)	1,994 (2,275)	— —	— —	72 (74)	「版画展」 3月6日～4月18日
合 計	24,492 (23,498)	8,824 (10,348)	5,654 (5,223)	976 (880)	30,146 (28,721)	9,800 (11,228)	— —	— —	295 (309)	
月平均	2,041 (1,958)	735 (862)	471 (435)	81 (73)	2,512 (2,393)	817 (936)	— —	— —	25 (26)	
日平均	83 (77)	30 (34)	19 (17)	3 (3)	102 (94)	33 (37)	— —	— —	— —	

○ぐるっとバス(東京の美術館・博物館等共通入場券)利用者数:累計749人

○7月5日～15日はくん蒸消毒のため休館

2 旧実篤邸公開

項目	公開日数(日)	利用者数(人)	備 考
4月～6月	26	1,663	
7月～9月	30	1,259	
10月～12月	29	1,687	
1月～3月	24	1,035	
計	109	5,644	
前年度	103	5,622	※7月12日～19日はくん蒸消毒のため公開休止

3 閲覧室の状況

項 目	開室日数 (日)	利用者数(人)			レファレンス受付件数(件)			備 考
		室利用者	(情報提供 システム)	(PC検索 システム)	カウンター 受付	電話・Eメール等 受付	小 計	
4月～6月	64	1,743	901	286	726	43	769	
7月～9月	58	1,363	778	307	559	10	569	
10月～12月	61	1,220	591	182	349	34	383	
1月～3月	59	985	496	225	471	23	494	
計	242	5,311	2,766	1,000	2,105	110	2,215	
前年度	247	5,668	2,837	815	2,089	140	2,229	

平成21年度 調布市武者小路実篤記念館運営事業団事業報告

平成22年3月31日 現在

2. 展示事業

展 示 名 称	展 示 概 要	会 期	会期中利用者数(人)
春季展 「風景画展」	実篤は「自分が夢にまで見てまでにかきたいのは山である」(「かきたいもの」)と書き、制作のために滞在した場所や旅先で様々な山と対峙し、風景画を描いてきました。普段見る機会が少ない実篤の風景画と、あわせて、愛蔵品や交友のあった画家たちの、さまざまな風景画をあわせて紹介した。	平成21年3月7日 ～4月12日 (32日間)	大 人 701 子ども 236 計 937
春の特別展 「連作“馬鹿一もの”の世界」	実篤が63歳から84歳まで20年以上に亘って書き続けた、後期の代表連作“馬鹿一もの”の魅力を紹介。代表作「真理先生」の原稿をはじめ、ゆかりの資料により、時代背景や当時の書評からその評価を見直すと共に、そこに描かれた生き方に対する実篤のメッセージを改めて読み直す機会とした。	平成21年4月25日 ～5月31日 (31日間)	大 人 1,403 子ども 61 計 1,464
企画展 「実篤コレクションに見る「祈りの造形」	実篤が収集した美術品の中で、木喰「薬師如来坐像」をはじめとした仏像、中国の俑、「白衣観音」「涅槃図」など、「祈り」をテーマとした作品が多くある。それらは、実篤が作品の持つ精神性や作者の心を感じ集めたもので、彼の美術への思いを知る手がかりとなります。実篤が愛した美術品を、作品ジャンルにこだわらず、新しい視点で見直す展覧会とした。	平成21年6月9日 ～7月5日 (24日間)	大 人 738 子ども 39 計 777
夏休み企画 「もっと知りたい 武者小路実篤」	「友情」、「愛と死」、「人生論」、様々な美術論をはじめとした執筆活動、独特の作風で親しまれている書画の制作や美術コレクション、新しき村の運動と多彩な活動をした武者小路実篤の90年の生涯を、夏休みの小・中学生にもわかりやすい解説で紹介した。	平成21年7月19日 ～8月30日 (32日間)	大 人 592 子ども 284 計 976
秋季展「画を見る喜び かく喜び」	実篤は、古今東西の美術に親しみ、その作品から作家の心に触れることの喜びを感じ、自らも多くの美術品を収集していた。当館で所蔵する実篤愛蔵の絵画と、実篤が描いた逸品の中から、画を見る喜び 描く喜びを紹介した。	平成21年9月5日 ～10月12日 (33日間)	大 人 841 子ども 51 計 892
移動展 武者小路実篤記念館収蔵品より「人と筆跡」展 (たづくり1階ギャラリー)	実篤が愛した良寛や一休宗純など古筆、また、志賀直哉、夏目漱石、有島武郎、長与善郎ら交流のあった人々の書や原稿、書簡等を展示し、筆跡を通して作者を知り、実篤の作品に対する思いを紹介した。	平成21年9月19日 ～10月25日 (32日間)	計 2,567 (大人・子どもの内訳未測定)
秋の特別展 「生きること～高田博厚と実篤」	高田博厚は、実篤との親交が深く、留学先のロマン・ローランから「指で思索する」と評された彫刻家です。博厚の人物像とその交流を作品と資料から紹介した。	平成21年10月24日 ～11月29日 (32日間)	大 人 1,302 子ども 45 計 1,347
「新収蔵品展」	平成17年以降に新たに寄贈や寄託された作品・資料を紹介した。実篤の代表作「愛と死」の原稿や、実篤愛蔵品、また交友のあった作家や画家たちの作品・資料を中心に紹介した。	平成21年12月12日 ～平成22年1月17日 (26日間)	大 人 538 子ども 30 計 568
企画展 「仙川のくらし」	実篤は、70歳の時に人生の完成の地を求めて仙川に移り住み、安子夫人との穏やかな生活の中で、執筆や書画の制作に励む日々でした。実篤が愛した仙川の家での生活、そこで生み出された作品群を紹介した。	平成22年1月23日 ～平成22年2月28日 (32日間)	大 人 946 子ども 54 計 1,000
春季展 「版画展」	実篤は、若い頃から古今東西の美術に親しみ、多くの美術品を収集し身近に置いて鑑賞していた。実篤の収蔵版画作品の中から、レンブラントやルオーなどの西洋美術をはじめ、交流のあった岸田劉生や河野通勢らの版画を特集しました。同時に実篤作品を飾った装幀版画も展示し、実篤の幅広い活動や交友を紹介した。	平成22年3月6日 ～平成22年4月18日 (28日間)	大 人 549 子ども 45 計 594 (3月分のみ)

3 普及事業

(1) 講座・講演会等活動

事業名	内 容	講 師	開催日	場 所	参加者数
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」 (春)	実篤がよく描いた野菜や花を、日常なじみの少ない墨と絵の具で描き、実篤がどのように描いていたかを体感する機会とした。	事業団職員	4月3日・4日	実篤記念館	52
講座 仙川歴史散歩	実篤ゆかりの仙川(仙川一里塚・実篤ゆかりの店・桐朋学園・神代高校・和光堂・長善館・仙川寺町等)の歴史散歩とした。	山岡 博	5月9日	仙川駅～ 実篤記念館	11
読書講座「原田宗典、武者小路 実篤を読む」(全3回)	実篤の戯曲を原田氏がビートルズの曲に合わせた朗読で実篤作品に親しみ、活字だけでは気付かなかった実篤文学の魅力を発見する機会とした。	原田 宗典	5月16日・ 23日・30日	東部公民館	53
自然観察会(初夏) 実篤公園と周辺緑地	実篤公園と周辺を歩き、段丘の湧水が野川に注がれる自然豊かな地形を体感し、そこに見られる植生の特徴や人の生活との関わりを学んだ。	富田 広	5月17日	実篤公園と周 辺	24
展示解説 春の特別展 「連作“馬鹿なもの”の世界」	実篤後期の代表作「真理先生」の原稿とゆかりの資料から実篤のメッセージを改めて読み直し、時代背景や当時の書評等を解説した。	事業団職員	5月24日	実篤記念館	19
講座 「作ってみよう！～梅ジャム」	新しき村から贈られた記念館中庭の梅は、栽培用の梅で毎年多くの実をつける。この梅の実で、収穫と梅ジャム作りを体験した。	事業団職員	6月13日・14 日	実篤記念館 東部公民館	32
展示解説 「祈りの造形」展	実篤が収集した木喰「薬師如来坐像」をはじめとした仏像、中国の俑、「白衣観音」「涅槃図」等、「祈り」をテーマとした作品を解説した。	事業団職員	7月5日	実篤記念館	15
講座 「作ってみよう！私だけの本」	夏休みの小・中学生を対象にした講座で、本文から製本まで、3回の講座で、世界でたったひとつの自分の本を作ることを経験する。	田尾明敏 岡野暢夫	8月1日・ 2日・ 6日	実篤記念館 東部公民館	45
展示解説 「もっと知りたい 武者小路実篤」展	「友情」、「愛と死」、「人生論」等の小説や美術論をはじめとした執筆活動、独特の作風の書画や美術コレクション、新しき村の運動と多彩な活動をした実篤の90年の生涯を、夏休みの小・中学生にもわかりやすく解説した。	事業団職員	8月9日	実篤記念館	7
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」 (夏)	実篤がよく描いた野菜と花等を題材に、普段あまり使わない筆と墨で和紙に描き、実篤の描き方を体感した。	事業団職員	8月14日・ 15日	実篤記念館	106
講座 「実篤に挑戦！～うちわに筆と墨で絵をかこう」	実篤がよく描いた野菜と花等を題材に、筆と墨でうちわに描き、実篤の描き方を体感した。	菱沼陽士女	8月16日	実篤記念館	34
講座 「もっと知りたい！特別編～実篤公園の湧き水調べ」	実篤公園の湧き水と池の水を採取し、試薬キットを使って実験し、それぞれの特徴と違いを調べた。	市職員	8月23日	実篤記念館 実篤公園	11
講座 「もっと知りたい！～自由研究サポート」	小・中学生を対象に、記念館の資料・図書・情報システム、実篤公園の自然、更に地域の歴史など、夏休みの自由研究をサポートした。ボランティア等の協力を得て「ワークシート」を利用した記念館や公園の探求や「実篤公園の植物を使った工作」、「実篤公園周辺の動・植物、昆虫」、「調布の歴史」、「実篤や白樺派について」などの調べ方、参考書のアドバイスを実施した。	事業団職員 協力ボランティア	8月6日・13 日・20日・2 7日	実篤記念館	145
読書講座 「『真理先生』を読む」	激動の高度経済成長時代の中にあって、どんな人生でも「真理の力」を信じ、信念を持って生き抜いていく姿が、読者に希望を与える実篤作品の思想を読み解いていった。	瀧田 浩	9月12日	東部公民館	10
展示解説 「画を見る喜び」展	当館で所蔵する実篤愛蔵の古今東西の美術作品と、実篤が描いた逸品の中から、「画を見る喜び 描く喜び」展を解説した。	事業団職員	9月23日	実篤記念館	23

講座 仙川歴史散歩	実篤ゆかりの仙川(仙川一里塚・実篤ゆかりの店・桐朋学園・神代高校・和光堂・長善館・仙川寺町等)の歴史散歩とした。	山岡 博	9月26日	仙川駅～ 実篤記念館	7
移動展ギャラリートーク 「人と筆跡」	9月19日～10月25日開催の展覧会の解説。実篤の愛蔵品や交流のあった作家、画家らとのエピソードや書に対する思いなどを中心に紹介した。	事業団職員	10月4日	実篤記念館	20
朗読会「実篤を聴く」パート9 「書を読む」	移動展「人と筆跡展」に合わせ、書に関する随筆や伝記小説から、一休や良寛についての実篤の思いや、実篤の書について友人の画家や作家が語っている作品の朗読を鑑賞した。	演出 川和 孝 出演 河崎早春 根岸光太郎 松尾智昭 宮崎敦吉	10月10日 (2回)	文化会館た づくり 8階映像シア ター	58
記念講演会 「孫から見た武者小路実篤」	実篤次女妙子の次男、信和氏が実篤と一緒に過ごした三鷹市牟礼での生活の様子や、安子夫人との二人暮らしとなった仙川の家での思い出を語られ、優しく面白いおじさんであり、文人としてではなく、一人の祖父としての素顔を紹介した。	武者小路 信和	10月17日	文化会館た づくり 8階映像シア ター	56
こども工作講座 「ウッドプレートを作ろう」	強風で倒れた実篤公園のホウの木や、ドングリ、松ぼっくり、ハクモクレンの実、ユリの木の実等でウッドプレートを作製し、自然や実篤に親しむ機会とした。	渡邊由美子 ねこじやらしの会	10月31日	実篤記念館	16
秋の自然観察会 「実篤公園から国分寺崖線を歩く」	実篤公園から若葉町周辺を歩き、国分寺崖線の地形の特徴を学ぶ。また、公園内で採ったクマザサとドクダミを煎ってお茶を作り試飲し、身近な植物の効用・効能を学ぶ。	富田 広	11月7日	実篤公園 及び 周辺緑地	20
美術講座 「白樺派の愛した美術」(全2回)	雑誌『白樺』の誕生100年に因み、白樺派がどのような美術家を紹介し、どのような視点から西洋美術への共感を示したか、そして彼ら自身がどのような美術を生み出したかを、実際の作品を通してみるとともに、資料によって白樺派の幅広い活動を探った。	初山 昌夫	11月11日・ 17日	東部公民館 神奈川県立 近代美術館 葉山館	53
展示解説 特別展「生きること」	秋の特別展「生きること」の関連行事として、展示作品や資料の見どころを、時代背景やエピソードを交えて解説した。	事業団職員	11月15日	実篤記念館	13
展示解説 「新収蔵品展」	展示「新収蔵品展」の関連行事として、展示作品や資料の見どころを、時代背景やエピソードを交えて解説した。	事業団職員	1月16日	実篤記念館	15
製本講座 中級編(全2回)	昨年度の基礎講座に続く講座として、はがき製本、和綴じ製本を実施。手作りの本を完成させ、本に親しむ機会とした。	岡野暢夫	2月2日・ 2月31日	東部公民館	35
展示解説 企画展「仙川のくらし」	展示「仙川のくらし」の関連行事として、展示作品や資料の見どころを、時代背景やエピソードを交えて解説した。	事業団職員	2月20日	実篤記念館	14
展示解説 春季展「版画展」	展示「版画展」の関連行事として、展示作品や資料の見どころを、時代背景やエピソードを交えて解説した。	事業団職員	3月28日	実篤記念館	3

(2)地域連携事業

事業名	開催日・会場	連携・協力団体	事業内容	参加者数
文学コンサートin実篤記念館	4月11日 実篤記念館	桐朋学園大学 音楽学部	実篤公園に桜が咲く季節、地元仙川の桐朋学園大学と連携して、恒例のコンサートを開催。今回は、歌とピアノにより、新しき村創設期に参加した、脚本家・小国英雄が執筆した映画の音楽を取り上げた。	45
友の会交流会「観梅の集い」 コンサート	2月21日 実篤記念館 仙川・ハーモニー・プラザ	桐朋学園大学 音楽学部 邦楽アンサンブル花筏	中庭にある新しき村から贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後、仙川・ハーモニー・プラザでミニ講座と交流会を開催した。	コンサート101 交流会 25
「おらほ市」参加	3月28日 仙川商店街	仙川商店街	記念館案内パンフの配布と、ミュージアムグッズ販売を実施した。	—

(3) 学校教育との連携事業

事業名	開催日・会場	連携・協力団体	事業内容	参加者数
芸術鑑賞	4月7・8・9日 実篤記念館	若葉小学校	「風景画展」鑑賞	5・6年生173
芸術鑑賞	5月30日 実篤記念館	桐朋学園女子高校	特別展「連作“馬鹿一もの”の世界」鑑賞	8
校外学習	5月30日 実篤記念館	晃華学園中学校	調布を知る	1年生 15
美術授業	6月9・10・12日 実篤公園	若葉小学校	実篤公園での写生	5年生 108
校外学習	6月10日 実篤記念館	滝坂小学校	実篤公園の自然と地形など	2年生 54
美術部校外活動	7月23日 実篤公園	第五中学校	実篤公園での写生	15
校外学習	7月29日 実篤公園	多摩大学付属 聖ヶ岡中学校	夏期講習	5
職場体験	9月8日～11日 実篤記念館	第八中学校	職場見学と学芸員の仕事	2年生 1
職場訪問	2月10日 実篤記念館	第八中学校	職場見学と学芸員の仕事	1年生 3
講演会	2月12日 第三中学校	第三中学校	講演「もっと知りたい 武者小路実篤」 人と作品	2年生 120
記念館見学	3月4日 実篤記念館	星槎国際高等学校	展示の解説と鑑賞	22
校外学習	3月27日 実篤記念館	桐朋女子中・高等学校	実篤の人と作品展示鑑賞	文芸部 120
寄贈	3月27日	市内小・中学校及び高等学校	武者小路実篤画集の寄贈	学校図書館 39

(4) 協力ボランティア事業

1) 協力ボランティア活動

ボランティア登録者 31人

主な活動事業	内 容	活動日数	参加者延人数
収蔵資料整理作業	収蔵資料、寄贈資料整理	55	140
広報資料発送作業	記念館刊行物・ポスター・チラシ等発送	15	43
開催事業補助作業	講座、講演会等の受付、会場整理	35	105
ボランティア研修会	展示解説、講演会研修参加	14	63
ボランティア会議	ボランティア活動に関する打合せ	5	54
植物ボランティア	記念館・公園の草花植え込み作業等	26	66
カイド関連作業	記念館・公園・旧邸のガイド	61	82
旧邸関連作業	旧邸清掃他	0	0
	(計)	211	553

2) ボランティアガイドツアー

実施月	回数	年間累計	参加者数	年間累計
4 月	2	2	30	30
5 月	2	4	15	45
6 月	2	6	11	56
7 月	2	8	12	68
8 月	0	8	0	68
9 月	2	10	17	85
10 月	3	13	27	112
11 月	3	16	4	116
12 月	1	17	0	116
1 月	2	19	25	141
2 月	1	20	14	155
3 月	2	22	7	162
(計)	22	一	162	一

3) 協力ボランティア ステップアップ講座

研 修 名	内 容	講 師	開催日	場 所	参加者数
来館者応対研修	来館者応対の基礎知識と話し方のポイント	話し方教育センター 今井かおり	1月28日	実篤記念館	20
視察研修会	実篤記念館の秋の特別展で取り上げた、彫刻家高田博厚の作品が多く展示されている、笠間日動美術館を見学し、絵画、彫刻、西洋、東洋、近代、現代の様々な作品を鑑賞した。	笠間日動美術館 副館長 事業団職員	2月18日	笠間日動美術館 (茨城県笠間市)	18

(5) 印刷物の編集

資 料 名	種 別	対 象	発 行	部 数	備 考
連作“馬鹿一もの”の世界	春の特別展解説書	一般	平成21年4月	1,500	有償頒布
もっと知りたい 武者小路実篤	No.13～15	一般・子ども	平成21年7月	各3,000	増刷
実篤記念館 館報	17号	一般	平成21年9月	3,000	
生きること－高田博厚と実篤－	秋の特別展解説書	一般	平成21年10月	1,500	有償頒布
「ともだち」（第3集）	子どもの詩・作文集	一般	平成22年2月	1,400	
もっと知りたい 武者小路実篤	No.10～12	一般・子ども	平成22年2月	各3,000	増刷
実篤記念館 館報	18号	一般	平成22年3月	3,000	
もっと知りたい武者小路実篤	No.31～33	一般・子ども	平成22年3月	各5,000	
平成22年度 展示案内	年間日程表	一般	平成22年3月	20,000	
武者小路実篤記念館案内リーフレット	記念館、公園案内	一般	平成22年3月	50,000	企画・編集作業

4. 資料収集・保存事業

(1) 資料収集

資 料 区 分	寄 贈 (点)	購 入 (点)	合 計 (点)	備 考
図書・雑誌	165	162	327	
関連作品・資料	26	0	26	
(計)	191	162	353	

(平成22年3月31日現在 所蔵資料点数 合計 48,192点)

- <主な収集品>

武者小路実篤より家族宛書簡17点
武者小路実篤画「孫二人遊技図」
- <寄託資料>

武者小路実篤愛蔵品5点
梅原龍三郎旧蔵図書(寄託) 435件 返却(平成22年2月4日)

(2) 資料整理・保存

- ・図書保存箱の作成

100点
- ・作品収納箱の作成

3点
- ・額 紫外線カットアクリル入替(額作成を含む)

7点

(3) 映像

- ・映像作品制作： 1件

武者小路実篤の作品鑑賞を目的とした、朗読と解説の映像
作品タイトル：「実篤の文学に親しむ1 愛と死」(14分)

(4) 修復

- ・作品修復： 3 点

武者小路実篤画「わびすけ」、書「心より」
武者小路実篤愛蔵品 元菴普寧書「墨蹟二大字」

(5) 複製

- ・資料複製： 原稿 1 点
：写真 57点

武者小路実篤「画をかく喜び」原稿(冒頭1枚)
武者小路実篤記録写真の複写

(6) 資料貸出

資 料 種 別	件 数	点 数	備 考
作品・資料	2	56	
写真資料	12	28	印刷物・展示用
(計)	14	84	

調布市武者小路実篤記念館運営事業団役員名簿

任 期 平成20年4月1日から平成22年3月 31日

[理事]

(平成22年3月31日現在)

職名	氏 名	備考
理 事 長	ふくだ ひろし 福 田 宏	民間
副理事長	こやま とし お 小 山 俊 夫	調布市教育委員会・教育部 教 育 部 長
理 事	むしゃこうじ たつこ 武 者 小 路 辰 子	民間
理 事	つかごし ひろみち 塚 越 博 道	調 布 市 生活文化スポーツ部長
理 事	おのぎき みつる 小 野 崎 満	調布市教育委員会・教育部 郷土博物館館長
理 事	たけかわ えいじ 武 川 栄 次	調布市教育委員会・教育部 武者小路実篤記念館館長

[監事]

職名	氏 名	備考
監 事	あ ら い し ち ご 新 井 七 吾	民間
監 事	ひじかた かずみ 土 方 和 巳	調布市教育委員会・教育部 副参事兼社会教育課長